

たいし 議会だより

第171号

発行／太子町議会 編集／議会広報特別委員会

令和2年5月臨時会で決まったこと	p 1 ~ p 2
令和2年6月定例会で決まったこと	p 3 ~ p 6
8 議員が 町政を問う (一般質問)	p 7 ~ p 11
議会のうごき	p 11 ~ p 12

梅雨前線がもたらした猛烈な豪雨により、全国各地で大きな被害が広がっています。犠牲になられた方々に心から哀悼の意を表します。被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げます。

太子町議会 議員一同

5月臨時会 町政を問う決まりました

第1回臨時会が、5月1日に開催されました。

今臨時会では、町長等の給与の特例に関する条例改正などの専決処分や副町長の選任などについて審議され、すべての議案を可決しました。



専決処分

●町長等の給与の特例に関する条例改正の専決処分の件

【提案理由】依然として厳しい財政状況の改善を図るため、引き続き特別職の給料を減額する。

町長選を経て、令和2年4月18日から、新町長の1期目の任期が始まることに伴い、条例の改正を4月18日付で専決処分を行った。

【内容】

・給与削減年間効果額

町長	281万6700円
副町長	60万1126円

給料削減			
区分	条例本則	削減率	削減後
町長	820,000円	20%	656,000円
副町長	700,000円	5%	665,000円
教育長	660,000円	5%	627,000円

退職金削減		
区分	条例本則	給料削減後
町長	17,712,000円	14,169,600円
副町長	8,400,000円	7,980,000円
教育長	4,752,000円	4,514,400円

教育長
年間効果額
56万6776円

・町長の退職金廃止
1416万9600円
← 0円

※ただし副町長が、府からの出向の場合、退職金の支出はありません。

●税条例中改正の専決処分の件

【提案理由】 地方税法の一部を改正する法律及び地方税法施行令等の一部を改正する政令等が、令和2年3月31日にそれぞれ交付され、原則として4月1日より施行されたことに伴い専決による改正の必要が生じたため専決処分を行った。

【改正内容】

個人住民税：所得税法の改正により、申告の際に添付する扶養親族等の申告書の名称が扶養親族申告書に改められ、単身児童扶養者の旨の申告が不要となったことによる文言整理。
固定資産税：所有者不明の固定資産税に関する固定資産税の課題に対応する観点から、固定資産の所有者が所在不明の時、当該固定資産の使用者を所有者とみなして固定資産税課税台帳に登録し、その者に固定資産税を科す

ことができる規定を加え、文言の整理を行う。

●後期高齢者医療に関する条例中改正の専決処分の件

【提案理由】 大阪府後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例が令和2年4月17日に公布され、同日施行されたことに伴い、太子町の条例について、専決処分を行った。

【内容】

新型コロナウイルス緊急対応策により、大阪府後期高齢者医療広域連合では、国内の感染拡大防止の観点から、新型コロナウイルス感染症に感染するなどした被用者が労務に服することができなくなった場合に傷病手当金を支給するため、の所要の改定を令和2年4月17日に専決処分を行った。

【概要】

対象者：後期高齢者医

療の被保険者のうち被用者で新型コロナウイルス感染症に感染した者、または発熱等があり感染が疑われる者

支給要件：労務に服することができなくなった日から3日を経過した日から労務に服することのできない期間

支給額：直近の3ヶ月の給与収入の合計額を就労日数で除した金額×3分の2×日数

適用：令和2年1月1日から9月30日までの間で療養のために労務に服することができな

い期間

●副町長の選任について同意を求める件

全会一致で選任に同意しました。



藤原 幹氏

— 議会用語 —

これって何の意味？

「専決処分」って？

本会議で議決、決定すべき事件を町長が議会に代わって処分することで「法律の規定による専決処分」「議会の委任による専決処分」の2つの場合が法で定められていますが、むやみに専決処分することは好ましくありません。

「請願」って？

国民に認められた憲法上の権利です。住民が、町政に対して希望を述べることで認められており、太子町で決められている手続きに則って提出された請願は、議会で審査されます。

第1回臨時会 審議結果一覧表

件名	審議結果	羽山茂男	中村直幸	辻本馨	斧田秀明	阪口寛	西田いく子	村井浩二	山田強	寺町幸雄	建石良明	森田忠彦
町長等の給与の特例に関する条例中改正の専決処分の件	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
税条例中改正の専決処分の件	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
後期高齢者医療に関する条例中改正の専決処分の件	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
副町長の選任について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

各議員の審議結果 ○賛成 ●反対 — 議長 ※可否同数の場合は、議長採決

1億9966万8千円増額 67億2821万円を可決

6月例会 主要な議案

第2回定例会が、6月2日に招集され、6月17日までの16日間にわたって開かれました。

今定例会では、補正予算や条例改正などについて審議され、すべての議案を可決しました。また、一般質問には、8人の議員が登壇し、活発な議論が交わされました。

主な計画事業



小・中学校の全児童・生徒に
タブレット整備



庁舎エレベーター更新



図書消毒機導入



令和2年度 補正予算

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計(第1号)	13億8728万3千円	64億7227万円
一般会計(第2号)	5627万2千円	65億2854万2千円
一般会計(第3号)	1億9966万8千円	67億2821万円
国民健康保険特別会計	262万5千円	14億4480万6千円

●一般会計(第1号) の専決処分の件

【内容】新型コロナウイルス感染症対策に係

る早急な対応が必要なる経費について、5月7日に専決処分を行った。

●補正額

13億8728万3千円

●歳入歳出総額

64億7227万円

【主な歳出】

●特別定額給付事業

13億4860万円

●子育て世帯への

臨時特別給付事業

1921万8千円

●休業要請支援金事業

1700万円

●新型コロナウイルス

感染症対策事業

マスク等備蓄用購入

246万5千円



99.0%の住民に給付しました。
(7月17日時点)

●一般会計(第2号) の専決処分の件

【内容】新型コロナウイルス

イルス感染症対策に係る早急な対応が必要なる経費について、5月18日に専決処分を行った。

●補正額

5627万2千円

●歳入歳出総額

65億2854万2千円

【主な歳出】

●新型コロナウイルス

感染症対策事業

水道基本料金無料

(6~3月)

2345万4千円

●図書消毒機

110万円

●町立幼小中学校給食費

無償(6~9月分)

1171万8千円

●予備費管理事業

2000万円

質疑

問 新型コロナウイルス

感染症対応地方創生

臨時交付金は、太子町

にはいくら交付されて

いるのか。5627万

2千円の内、2千万

円の予備費は、問題だ

とは思わないのか。

令和2年度一般会計補正予算 田中町長初の定例会 骨格予算から本予算へ

【答】 8348万9千円。2000万円の予備費は、「高校生給付金」を検討しており、目的をもって予備費としており問題ないと考えます。

●令和2年度一般会計(第3回)

- ・補正額 1億9966万8千円
- ・歳入歳出総額 67億2821万円
- 【主な歳出】
- ・庁舎エレベーター 更新 4514万4千円
- ・乗り換え拠点、役場前バス停に待合スペース設置 2699万7千円
- ・産婦健診への助成 (2回分) 86万1千円
- ・聖徳太子没後 1400年事業 136万7千円
- ・学校ICT 環境整備事業 8352万3千円
- ・山田西地区地車修繕 250万円

・山田小学校 教育振興事業 141万5千円

質疑

【問】 学校ICT環境整備事業で、学習用端末機器が必要な台数は、いつ生徒の手に渡るのがか。

【答】 補助が受けられる端末は全児童・生徒数の3分の2で、687台。残り3分の1に該当する223台は、リースで整備する方向で検討。整備時期は、OS、ソフトウェアの検討を学校側と相談しながら決定し、事業発注したい。秋ごろに発注し、年明け早々に配備したいと考えている。

【問】 1人1台というところだが、貸与・譲渡のどちらになるのか。

【答】 学校の備品なので、貸与・譲渡のどちらでもない。持ち出しは、

現時点では考えていない。新型コロナウイルスの関係で自宅での学習も話題で、自宅でのネットワーク学習環境が無い方は、貸出も将来的に検討する。

【問】 生涯学習施設建設の補正予算が、挙がっていないのに一体的に計画していた庁舎エレベーター改修工事と緑の回廊改修工事が計上されているのはなぜか。

【答】 エレベーター改修工事は、昨年度に実施計画だったが、4月より生涯学習施設の詳細設計を行うとされたことから、一体的に整備する計画とした。生涯学習施設整備は、検証期間を設けることから、現在の安全基準に適合しておらず、部品供給も今年度までなど早急な改修が求められることから単独で予算計上した。緑の回廊改修工事は、建築基準法上、生涯学習施設と同一敷地内の建築行為となり、

一つの建築確認として申請する必要があり、一体的に整備する計画だったが、生涯学習施設は、検証期間を設けることとなり、地域公共交通乗換え拠点の整備は、バス利用者の待ち空間を確保する観点からも早急に進める必要があり予算計上した。

【問】 聖徳太子没後1400年事業で、トリックアート製作、観光啓発物品作成とは、どのようなことを行うのか。

【答】 トリックアートとは、写真を撮ると立体的に浮かぶだまし絵のようなもの。近年観光地の看板等で見受けられ、SNSにて発信、拡散されている。本町でもトリックアートの看板を設置し、SNSを通じて観光啓発を図りたい。観光啓発物品作成は、記念スタンプとスタンプ帳を作成し、本町へ来訪される度に

スタンプを押すことで、複数回訪れるためのツールとしたい。聖徳太子没後1400年記念実行委員会にて計画を練っており、新型コロナウイルス感染症が発生後まだ会議を開けていないが、シンポジウムや歴史ウォークを計画。それらを通じて町内外にPRしたい。計画表は、平成31年度の議員全員協議会で本町及び本町と連携する自治体等の動きを示した。

【問】 道路空洞化調査の進め方は。

【答】 日頃から道路パトロールを実施し、路面の損傷、異常箇所の把握に努めている。舗装路面下の空洞化状況は目視で把握することが困難である為、専門業者へ委託し、道路空洞化調査を行う。調査は、既存のバス路線で年次的に費用を抑えながら実施を計画。今年度は、太子四ツ辻の方から行う予定。

討論

【反対】通常、町長選挙前の3月予算に、政策的予算を計上するのは好ましくないと指摘し、反対した。これに対し「住民生活にとって必要不可欠な経費を計上。限られた財源を効果的・効率的に配分するなど、住民サービスを切れ目なく提供することを前提とした予算編成であり大いに評価ができる」と賛成討論したのが、12月まで町長が町議として所属していた会派。大いに評価していた事業を凍結するのは、これまでの態度と矛盾しないのか。町長から生涯学習施設建設の何をいつまでに検証するかはつきりした答弁がない。「所信表明」で述べた中身は、予算の縮小や締め付けがちりばめられており、こんな町政運営では町の良さがなくなる事から反対。

【賛成】学校ICT環境整備事業は、小中学校のネットワーク環境整備や児童生徒1人に1台のタブレット端末を整備するもの。デジタル教科書の導入など、教育現場において早急な対応が迫られると考えられるもので必要な経費。地域公共交通事業、緑の回廊改修工事は、6月からの支線交通の実証運行も始まり、利用者が快適に使用するための待合室の整備も盛り込まれている。コロナ禍の中、住民ニーズに配慮されたものや国の施策に基づくものが、限られた財源の中で、効果的・効率的に取り組まれており、一定評価する。今後も更なる創意と工夫で、限られた財源を効果的・効率的に配分し、安定した行財政運営に努めることを強く要望し、賛成。

※意見を付けての賛成討論もありました。

質疑

●国民健康保険

問 国民健康保険の被保険者である給与所得者の人数は何人か。今回計上されている傷病手当金262万5千円の対象人数は。

答 昨年の11月末時点で給与収入のある被保険者は485人。傷病手当金の予算計上にあたっては、6人の支給を想定している。

条例改正

●国民健康保険条例
中改正の件

【内容】新型コロナウイルス感染症、感染が疑われる者へ、任意給付の傷病手当金を支給することが明記された。

質疑

問 太子町の傷病手当金についての考えは。

答 全国の市町村が行う国民健康保険では、傷病手当金を支給する自治体はなく、財政的に傷病手当金を支給可能な十分な余裕がある場合のみ制度を創設できるとされている。今年度の当初予算でも保険料の上昇を抑制するために財政調整基金を取り崩している状況を考えると、傷病手当金を恒久的に行っていくことは難しい。

質疑

●消防団条例中改正の件

問 女性、大学生、高校生の消防団員への加入推進の検討は。

答 河南町でも女性の消防団員が活躍されており、防災面での活躍も期待が見込まれる。加入に際しての条件整備が必要のため、今後研究していく。大学生は、現状問題なく加入出来る。就職活動でも有利に働くこともあると聞いており、団員を増やす観点からも拒むことはない。

議員提案

●議会の議員の議員報酬及び費用弁償等の特例に関する条例中改正の件

【内容】新型コロナウイルス感染症に対する地域経済支援のための財源に充当することを目的に7月1日～9月30日まで議員報酬を10%削減。

●副町長定数条例中改正の件

提案者 村井浩二
山田 強

【内容】副町長の定数を「1人」から「2人以内」に改める。

その他

●大阪広域水道企業団議会議員

西田いく子
6月定例会にて西田いく子氏が当選し、7月より活動しています。

討論

【反対】副町長の複数制を望む住民や行政当局、職員の声もない。

急いで提案する必要性がないことから反対。

【賛成】新町長の極端な人事も影響し、新型コロナ対応に住民の不安がある。緊急避難として将来的に副町長を複数制にしておくことが望ましいと考え賛成。

請願

●「(仮称)生涯学習施設」の早期建設開始を求める請願

【提出者】 太子町文化連盟

【請願の要旨】 町長の所信表明で「(仮称)生涯学習施設整備事業」について、今議会での補正予算の計上は、一旦、見送りとする旨の表明がありました。現在の公民館及びまちづくり観光交流センターは、建築後数十年が経過し、雨漏り等老朽化が著しく、耐震基準も

満たしていません。東南海地震など自然災害にも対応すべく、生涯

学習施設の早期建設が大多数の町民から切望されてきました。29年3月議会に当初案の実設計費の予算が上程されましたが、同年8月4日に予算が凍結されました。その後、建設予定地を変更、30年12月19日の特別委員会で、まちづくり観光交流センター敷地での建て替え案が9対1の圧倒的多数で可決され多くの住民が待ち望んでいた生涯学習施設建設が前に動き出しました。

基本計画策定から、現在の修正案が出来上がるまで、すでに多額のコストが生じており時間も経過しています。町民は一日も早い、安心安全な施設での学習活動を待ち望んでいます。速やかに建設開始を田中町長に要請されることを請願します。

※全会一致で採択されました。

第2回定例会 審議結果一覧表

件名	審議結果	森田 忠彦	建石 良明	寺町 幸雄	山田 強	村井 浩二	西田 いく子	阪口 寛	斧田 秀明	辻本 馨	中村 直幸	羽山 茂男
大阪広域水道企業団議会議員の選挙	当选	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
税条例中改正の専決処分の件	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度一般会計補正予算(第1号)の専決処分の件	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度一般会計補正予算(第2号)の専決処分の件	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書報告の件	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消防団条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消防団員等公務災害補償条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
令和2年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業委員会委員の任命について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別職の給与の特例に関する条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等の特例に関する条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
副町長定数条例中改正の件	否決	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○
「(仮称)生涯学習施設」の早期建設開始を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

6月定例会の一般質問

町政を問う

8人の議員が登壇

この記事については、質問者においてまとめたものです。

空き家の利活用について…………… P7	地域公共交通の多目的活用を…………… P9
新型コロナウイルス対策について…………… P7	学校再開後の子どもたちの学びの場の保障を…………… P10
町と社会福祉協議会との事業連携について…………… P8	町長の政治姿勢を問う…………… P10
教育行政トップの心境について…………… P8	「本町の財政見通しは厳しい」とは…………… P10
生涯学習施設建設の今後について…………… P9	生涯学習施設をどう進めるのか…………… P10
聖徳太子没後1400年遠忌について…………… P9	新任・田中町長の「所信表明」について…………… P11
コロナウイルス感染症の影響による経済支援は… P9	

問 日本遺産の認定を受けた竹内街道に関しては、利用促進に向けた取り組みをされているが、本町全体では進んでいない。高知県梶原町の先進事例では、平成25年から町が10年程度空き家になった空き家を所有者から預かり、最低限の改修をして移住者に貸し出す。かけた費用を回収後に所有者に空き家を戻す。最大のメリットは、空き家の所有者が費用の負担が無い、家賃収入が町に入るため町の持



空き家の利活用について

寺町 幸雄 議員

ち出しもゼロ、所有者には10年後にリフォームされた家が返却、借りては手ごろな家賃で住める。梶原町では色々な支援制度を活用。太子町の取り組みは。空き家対策総合支援事業の補助金制度は。空き家バンク制度は。

答 限度額があるが国が二分の一、府は無い。現状では困難である物件情報の登録。空き家等の所有者と希望者のマッチングの推進、情報収集し調査研究する。

要望 管理がない空き家は防災、防犯、衛生、景観、生活環境等に深刻な影響を及ぼすが、資源と捉え、活性化施策の起爆剤に。

Q 新型コロナウイルス対策について

問 ①対策本部設置から現在の状況、今後の取り組みは。
②運動会、修学旅行等人間形成の中でも最も

思い出づくりに一番大切な時期。第2波、第3波も想定し、感染予防対策、安全対策等の指導と、学習等の支援体制を。

答 ①国、府の方針に基づき、会議を15回開催。防災行政無線、ホームページ、広報等で感染予防対策に取り組む。感染予防のガイドラインの作成、今後は感染状況、事態の変化に迅速に対応する。
②教育活動を継続するための対策と工夫を行う。健康状況を把握し、非接触型体温計を学級数配布。授業補完にウェブ会議システムの実験的運用を始めた。中学校から小学校に広げる。万全のサポート体制を整える。健康面、学習面の双方から適切な支援・対応をする。

要望 制約される行動勉強、部活、健康等に先生と子どもたちのストレス等に充分配慮するよう要望する。

町と社会福祉協議会との事業連携について



斧田 秀明 議員

問 昨年5月1日に締結した地域福祉活動の支援にかかる連携協定について、取り組んだ内容を問う。

答 地域福祉にかかる将来的な展望を共有、相互に役割を分担して、連携・協働し、すべての住民が安心していきいきと暮らせるまちづくりのための取り組みを行う。また、これら概念を「見える化」し、具現化するため、計画や事業内容の相互協議を単年度毎に検証

し、次年度以降の事業に反映する。

具体的な事業は万葉ホールで開催した「ご近所福祉」でつながる地域の未来「みんなが安心して暮らせる地域のヒント」と題した地域での支え合いの大切さをテーマとした講演会を皮切りに、モデル地区を3地区選定し、6回にわたり「地域支え合いマップ作り」のワークショップを開催した。他に、多機関の協働による包括的支援体制の構築や生活支援コーディネーターの配置や次期地域福祉計画と活動計画の策定を協働で行う。

問 新型コロナウイルス感染症対策事業について、町と社会福祉協議会が取り組んだ内容並びに総合福祉センターの開館にあたり、特に配慮した内容を問う。

答 高齢者向けの健康維持を目的に、町では防災無線を活用し、毎

日午前10時と午後3時に「たいしくん元気体操やラジオ体操」の音楽を流し、住民の健康維持に努めるとともに、緊急事態宣言解除後も好評につき引き続き継続している。

この体操の発案も社会福祉協議会とタイアップしたものであり、体操方法のチラシは、町が作成し、社会福祉協議会にて全戸に配布した。

外出中の高齢者・障がい者などへの見守り支援事業として、延べ2000人以上に、電話等による安否確認のほか、様々な見守り活動を実施した。

町と社会福祉協議会は今後とも、両輪のごとく逐次連携し、総合福祉センターの管理のみならず、地域福祉における様々な課題の解決にあたらなければならないと考えている。

要望 住民福祉の向上のため、今後も両者の連携の推進を求める。

教育行政トップの心境について



山田 強 議員

問 誰がこういったからこうなったということではなく、教育長の意志の疑問点を聞く。

答 ①町長選を戦った二人の候補に仕える苦悩。②所信のレベルアップを要望される苦悩。③生涯学習施設が見直しの苦悩。④町長が交代した先の選挙。前副町長・教育長が敗者陣営にも出席。選挙後、教育長は留任、前副町長の姿はない。それなりの覚悟はあったと思う。中立が自然でよかったのでは。

⑤就任時の所信表明について。田中議員時代の一般質問「学力向上ソフト面の充実をしっかりと」。選挙中の田中候補のチラシ「ソフト面に力を入れ学力向上と生き抜く力を育む施策を実行し教育行政をさらに充実する」。教育行政のトップに更なるレベルアップを望む。気骨ある教育長。どんな心境で受け入れられたのか心境を聞く。

⑥選挙後、町長の所信表明。生涯学習施設の検証、補正予算は計上しない。特別委員会では合意され文化祭後着工の工程が示され、町民から期待されていた。教育長・担当者は早期実現を目指して準備してきた事業であり、文化連盟や町民の皆様と連携された案件。この結果をどんな気持ちで受入れたのか。建設を夢見てこられた皆様に教育委員会トップとして真摯に心境を報告され、納得頂くのも携わった者の使命である。

⑦

答 ①新しく当選された田中町長に、私自身の進退について、聞いたところ慰留された。職にしがみつくつもりも毛頭ない。コロナウイルス感染症が拡大し、学校休校が長引く中、空白を創ることは多くの皆様にかえって迷惑をかけることになるとはと考え続投を決意。②「学力向上」や「学習環境の整備」は教育委員会として取り組んできた施策の根幹をなすもの。私の信条でもあり、誰もが望むことでもある。

③生涯学習施設の整備については、選挙で選ばれた新しい町長が、自らの責任において事業の内容を検証されることについては当然のこと。町長の意向を受け、速やかに検証作業を進め、より良い施設の建設を進める。

④

※疑問点はすべて解消されていないが個人の心境なので再確認はしない。

生涯学習施設建設の今後について



中村 直幸 議員

問 町長は、議員時代も町長選挙でも、生涯学習施設建設には、一言も触れていないのに、町長になって突然、生涯学習施設建設にかかる予算の執行を止めた。かつての田中議員は、令和2年1月20日で辞職されたために、第24回まで、特別委員会でご一緒して議論を重ねてきた。建設にあたっては現在、約5200万円が決裁済みになっている。同じことの繰り返しは許されない。

選挙のビラに公約としても、掲げてはもらなかった。
「再検証」と言うが、検証の全容についてしっかりとした答弁を。

答 重ねた貴重な議論を無駄にする意志はなく、計画を根拠から否定するものではない。現計画を白紙に戻すとか、事業の中止凍結を目指すものではない。政策を提案する立場となり、前町長の現計画を無条件に追認する事は、責任ある行動とは言えない。
「観光機能の新設計画は当初の想定にはなく、起債の条件が満たされるのか」「大きく町の財政状況が変化している」「施設運営に関する人件費や管理経費などランニングコスト」について等、財政運営の上でも、検証が必要。計画が遅れる事で町財政に負担となる事は望まないので、期限は視野にいれながら検証を進めたい。

Q 聖徳太子没後1400年遠忌について

問 町と叡福寺の長い歴史の中で1400年遠忌。叡福寺が宮家をお迎えされるにあたり太子町の考えは。

答 叡福寺が主体で取り組むと考える。町は、コロナ感染症拡大の懸念、備えへの責務、第二波の危険性等を考慮すると厳しいものがある。皇室が地方を視察された事例や予定等の動向も参考に、関係部署の協力、対応が可能か等検討したい。



南大門から見下ろした1300年遠忌での大名行列
(叡福寺所蔵書物より)

コロナウイルス感染症の影響による経済支援は



村井 浩二 議員

問 町内の小規模事業所や飲食事業者から、救済を求むる声が多数届いている。町が発行している広報紙や広報紙折込みなどを活用し、経済支援策を進められるのではないかと。また、観光に注力している本町では、観光関連事業者に必要な役割を担っていただいている。入湯税を積立てる環境衛生等基金を財源として活用し、観光関連事業者に対する支援策を検討するべきではないか？

答 広報紙折込みなどを活用した経済支援策を前向きに検討し、迅速な支援が打ち出せるよう取組みたい。

要望 ウイズコロナ時代での新しい生活スタイルなど、継続的支援策を迅速に実施するよう要望する。

Q 地域公共交通の多目的活用を

問 コロナウイルス感染症の影響により、夏休みを短縮して異例の真夏に児童、生徒が学校へ通学することになる。特に下校時は直射日光で焼けたアスファルトの通学路での過酷な通学になるとも考えられる。また、磯長小学校区では、太井川以西の地区、山田小学校区では、畑地区の児童・生徒は、学校まで距離がある。両地区からの通学路は、交通量の増加などで通学路の安全が危惧されているものの、抜本的な解決

策を見いだせてない。他に、より安全な通学路もないエリアも想定した上で、利用促進策の一環に繋がることから、路線バス、コミュニティバスをスクールバスとして活用しては？

答 路線バスでの登下校は想定にない。またある程度的人数で集団となつて登下校することとは、不審者対応としての安全面が高いと考えている。取り決めておくルールなど必要となる為、さらに議論の余地がある。

問 多額の予算をかけて整備された役場前ロータリーを支援学校の子ども達が安全に乗降していたく為に利用の提案を。

答 富田林支援学校に旧六枚橋バス停への移動とともに、役場前ロータリーへの乗り入れも聞いたが、現在の乗降場所の移動はできないとの回答があった。

学校再開後の子どもたちの学びの場の保障を



西田いく子 議員

問 学校生活をどう取り戻すのか。

答 町立小中学校とも協議し、夏季休業を9日間短縮、学校行事の中止や規模縮小を行うことで教育課程を再編成し、失われた授業時間をおおむね確保できることを確認し、保護者への通知も実施した。生徒個々へ十分な配慮を行うよう教職員への指導を行いながら、教育委員会もサポート体制を整え、この難局を乗り切りたい。

問 少人数学級が、今こそ求められている。早期実施を。

答 町が35人学級を実施するには、学級数増による教職員の確保が最大の課題。年度途中の学級分割は、学校運営に混乱を伴い、保護者の不安も招くことも予想され、即座に実施するのは困難だと考えるが、早期の少人数学級が実現できるよう教育委員会としても取り組みを進めたい。

要望 町独自に一日も早い少人数学級に踏み切るよう要望する。

問 Q 町長の政治姿勢を問う
答 日本共産党は、住民福祉の向上のために議員活動を続けており、町当局に対し「町政の監視役」の立場だが、与党議員は当局とは「車の両輪」だと全ての議案に賛成してきた。田中町長も浅野町政を

支える与党議員だった。ところが突然、生涯学習施設建設に対し「町長になって『責任』を持って再検証したい」と言い出した。では、町議時代の発言には、責任がなかったのか。田中祐二氏の「責任」に対する考えは、肩書で変わるのか。

答 議会は議決機関、長は執行機関として役割分担し、住民代表としての責任がある。議員だった私は、前町長が提案した議案に責任を持って判断してきた。長となった現在、議員に責任を持った議案を提案するとしており、住民代表としての責任に変わりないと考える。

要望 町長になった途端「民意」だと過去を反故にし、選挙公約を投げ捨てるのは許されない。自分が歩んできた歴史とこれからの町長としての歴史が、全く別物にならないよう強く願う。

「本町の財政見通しは厳しい」とは



阪口 寛 議員

問 町長の所信表明では、本町の財政状況の厳しさを強調しているが、太子町は毎年黒字決算で、健全化判断比率も問題なく、基金も増やし続け、30億円を超えている。基金は本来住民の税金であり、特に、17億円を超える財政調整基金は自由な活用が可能で、住民福祉の増進に使うべきものである。総務省も基金の設置の趣旨に即して、確実かつ効率的な運用を行いつつ、優先的に取り組むべき事業

への活用を図ることを求めている。「本町の財政見通しは厳しい」とする根拠と、財政調整基金は何のためにあり、必要な額は。

答 これまでは一定の黒字を確保していたが、平成31年度末見込みでは、財政調整基金の取り崩しを見込んでいます。財政調整基金は年度間の財源不足に備え、今後の厳しい財政状況を補填するものである。基金には限りがあり、事業には限りがあり、事業は見直し、新たな事業は慎重に展開していく。

問 Q 生涯学習施設をどう進めるのか
答 町長は「公民館、図書館の必要性を認識するが、今議会での予算計上については、いったん、見送りにする」として、検証することになった。町長は議員の時から生涯学習施設建設に関

わり、内容も知っている。来年度中に工事を完了させれば、公共施設等適正管理推進事業債の活用で、起債することも可能だし、生涯学習施設の建設工事費の約3割が交付税措置で国の補助金を得ることができれば、町が全額負担になる。何を、いつまで検証するのか。多くの住民は令和4年8月オープンを期待している。住民の願いに込めることができるのか。

答 生涯学習施設の検証は、建設の根幹をなす財源の件、まちづくり観光協会の件、施設が備えるべき設備や機能の件、ランニングコストなど様々ある。早期建設の期限の意味を意識しながら、検証を進めたい。

要望 検証を直ちに進め、住民、議会、職員との努力を無駄にすることなく、生涯学習施設建設を実行されたい。



新任・田中町長の「所信表明」について

建石 良明 議員

問 地域公共交通事業実施に伴う「緑の回廊」改修工事の意義は。

答 地域公共交通の乗換え拠点整備として実施。6月1日の運行開始に向け、金剛バスの停車帯及び待合所の設置、障がい者用駐車場の再整備を先行。

この度、町コミュニティバスにおける待ち空間の整備に向け、工事費を補正予算案として提案。本工事実施により利便性の向上を図り、地域公共交通事業



「所信表明」

議員皆様、住民皆様のご意見をしっかりとお聴きしながら、笑顔あふれる太子町の実現のため、しっかりと取り組んでいく。

太子町の変化、チェンジを望む住民皆様に選んでいただいた町長として期待をしっかりと受けとめ、常に「覚悟と決断」を持って臨む。

議員皆様、住民皆様のご意見をしっかりとお聴きしながら、笑顔あふれる太子町の実現のため、しっかりと取り組んでいく。

問 国指定史跡二子塚古墳保存整備のこれまでの経過・今後の取組は。

答 二子塚古墳は、昭和31年11月28日に国史跡に指定された全国的にも珍しい双方墳。直接、石室・石棺を見ることができるとともに、付いた身近な歴史的遺産。単なる古墳保存のための整備ということだけではなく、周辺地域との調和を図りながら歴史学習、観光、憩い、更には防災など多面的に活用ができる機能を持つ施設として整備を進めていく。

今後の町政を進めるうえでは、子育て支援や高齢者の活躍、観光振興や防災など様々な分野において、住民皆様のお力をお借りしながら、一緒に取り組んでいく。

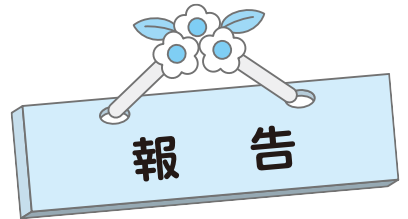
今後の町政を進めるうえでは、子育て支援や高齢者の活躍、観光振興や防災など様々な分野において、住民皆様のお力をお借りしながら、一緒に取り組んでいく。

の利用者の一層の増加をめざす。また、活用可能な財源について、大阪府へ照会し働きかけを行う等、財源の確保に努める。

問 今後の町政運営にかける田中町長の意気込みは。

答 まずは、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策に万全を尽くす。こども医療費助成の高校卒業までの延長など、選挙において約束したことを一つひとつ着実に実行していく。

議会のうごき



報告

残念ながら、コロナ感染症の問題もあって、地域公共交通会議の委員の方々をお呼びすることができませんでしたが、3密を守り、議長をはじめ議員が出席しました。

地域公共交通運行開始式



6月1日から、待ちに待った太子町コミュニティバスと金剛バス(新路線)の運行が始まりました。運行に先立ち、5月31日、雨の中「運行開始式」が行われました。

議会改革協議会

7月7日、議会改革協議会(辻本馨座長)が開催されました。

事前に、各会派に対し、「協議会で検討してほしい議案」について募集すると案内があり、文書で提出された件について、議論しました。

【政友クラブ】

・町議会議員の定数削減(11名↓10名)

【ふたかみ会】

・幹事長会のあり方

・議会BCP(事業継続計画)の策定

【日本共産党】

・議会運営について

「住民に見える議会」

(6項目)

「住民の意見を聞く議会」 (4項目)

「議会の活性化」 (5項目)

それぞれの提案は、各会派・各人それぞれに思いがあり、議会議員全体のものにするには、議論を深める必要があります。今期で終わりではなく、今後も継続して議論することが、確認されました。

表彰



大阪府知事より『憲法記念日知事表彰』が、中村直幸議員に授与されました。

生涯学習施設建設調査特別委員会

6月4日に『第26回生涯学習施設建設調査特別委員会』が開催されました。

田中新町長が就任して、初の定例会であり、開会の冒頭に新町長による『所信表明』が行われました（広報太子7月号参照）。その『所信表明』を長くいただきます。町長は、「(仮称)生涯学習施設整備事業についてありますが、今議会での予算計上につきましては、一旦、見送りとさせていただきます。公民館については、築年数から老朽化が激しく加えて利用頻度も高いことから建て替えが必要であるとの認識であります。また、図書館についても、子ども達に図書と触れ合う機会の確保や住民の憩いの場ともなることから、同じく必要な施設であると認

急遽、『第26回生涯学習施設建設調査特別委員会』を開催することになったのです。

3月の25回の特別委員会では、庁舎関連工事費を含めて9億7300万円との説明がありました。生涯学習施設建設の工事費だけに限れば総額8億7500万円、4億9千万円の起債を活用できること、国から起債の半分の2億4600万円の交付税がもらえることなどから、町の負担が抑えられるとの具体的な数字に一同納得したものです。ただし、この日も示されたスケジュール通り、令和2年度中に工事に着工し、令和3年度中には工事を終えなくても、国の交付金などでも、国の交付金などもらえるのか、もらえたとしても減額になるのではないかと心配が生まれます。

かになりませんでした。

7月16日に前回の疑問を解決すべく、『第27回生涯学習施設建設調査特別委員会』開催しました。委員から、厳しい質問が飛びましたが、町長からは従来通りの「検証中」の一点張りで、検証の中心がわかりません。ただ、一点だけ「令和4年の文化祭に間に合わせたい」との思いは応えていきます。その点では、町長として、「(仮称)生涯学習施設」の早期建設を求め「請願」に込めるべく、スケジュールを変更する気持ちがないことは、伝わりました。

令和2年3月16日 生涯学習施設建設 調査特別委員会資料	生涯学習施設建設 工事費(概算)	庁舎関連工事費(概算)			計
		緑の回廊	エレベーター	受変電設備	
設計工事費(税込)	8億7500万円	2800万円	4800万円	2200万円	9億7300万円
令和2年6月議会 予算常任委員会 補正予算	生涯学習施設建設 工事費(概算)	庁舎関連工事費(概算)			計
		緑の回廊	エレベーター	受変電設備	
設計工事費(税込)	0円	2699万7千円	4514万4千円	0円	7214万1千円

次の定例会は、9月に開催されます。ぜひ、傍聴にお越しください。日程については、ホームページ、広報無線でお知らせします。

議員の香典・弔電の自粛、挨拶状を廃止しています
太子町議会では、公職選挙法の趣旨を尊重する立場から、町民の皆様への弔事に際しまして議員個人の香典等の自粛、挨拶状の廃止を申し合わせています。皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い致します。